

経営比較分析表（令和4年度決算）

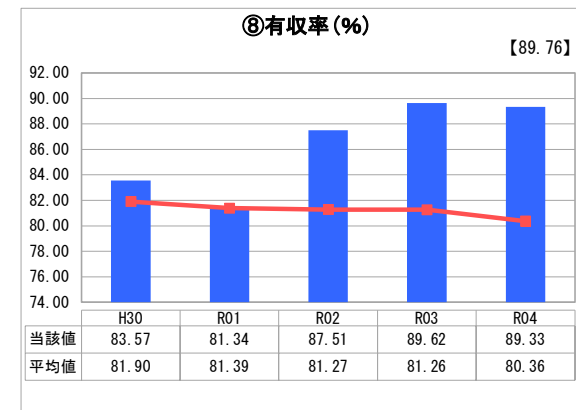
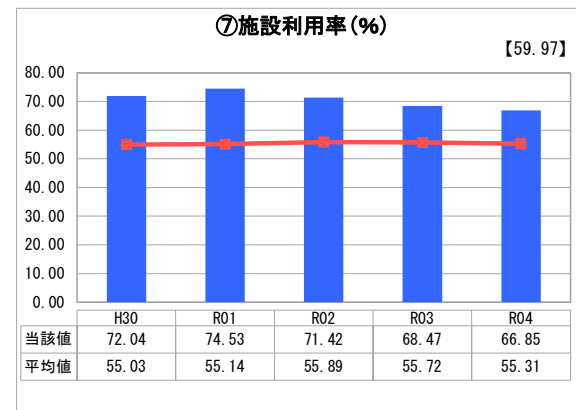
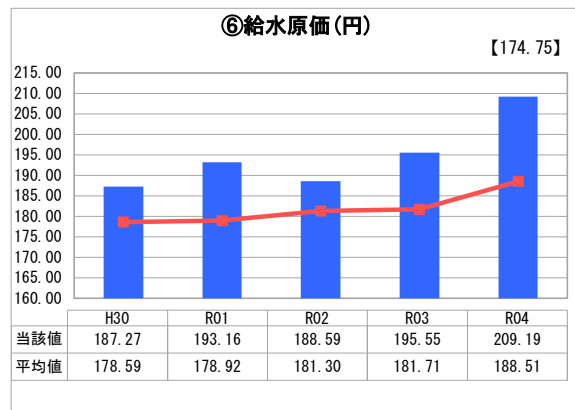
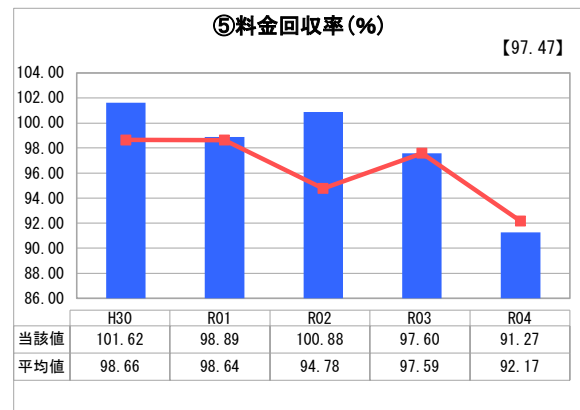
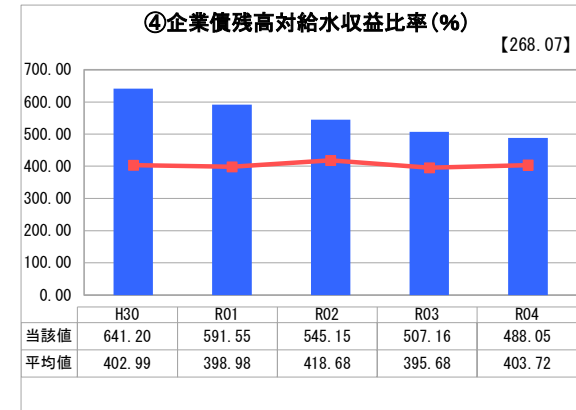
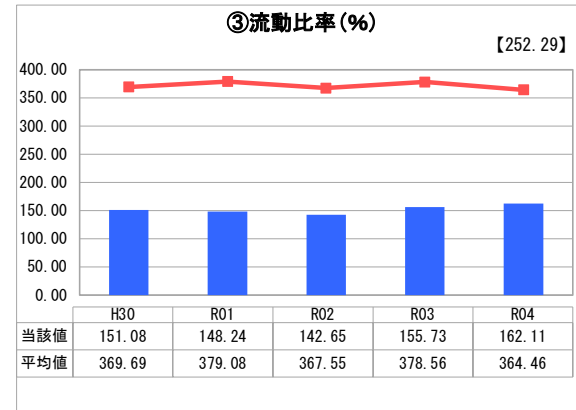
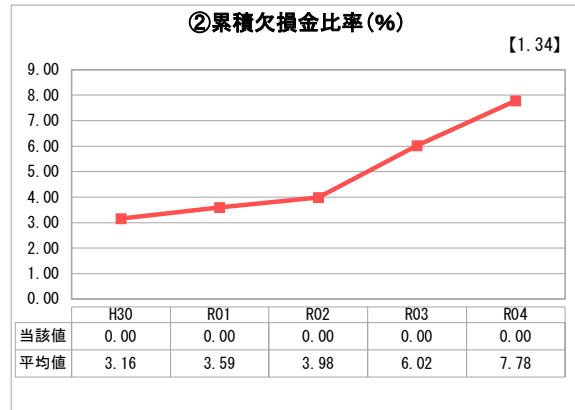
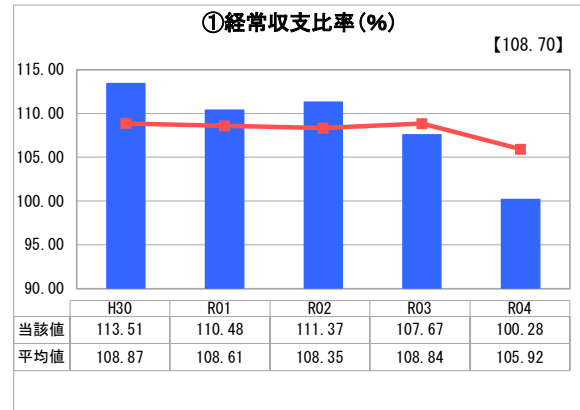
宮崎県 高鍋町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	54.70	90.62	3,311	

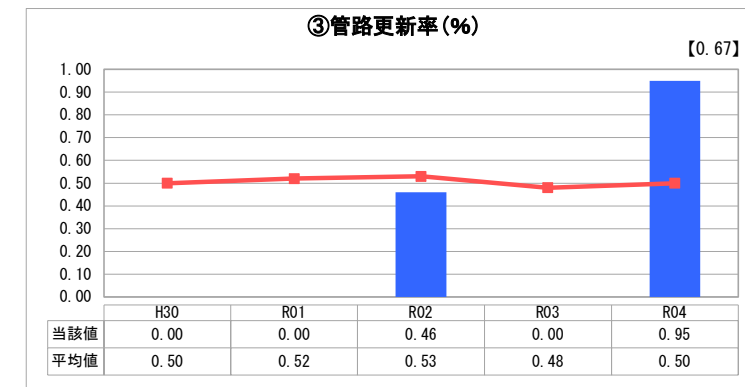
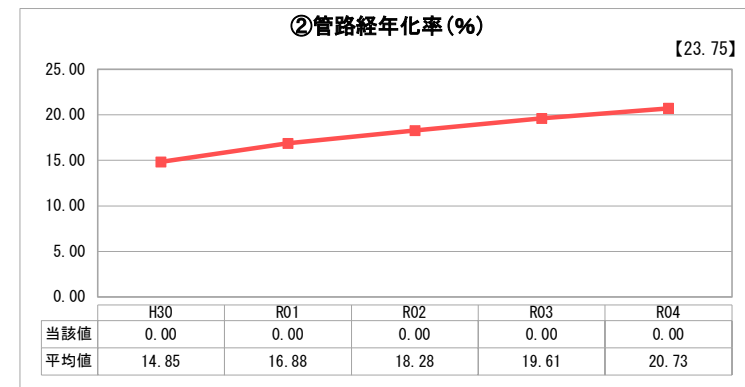
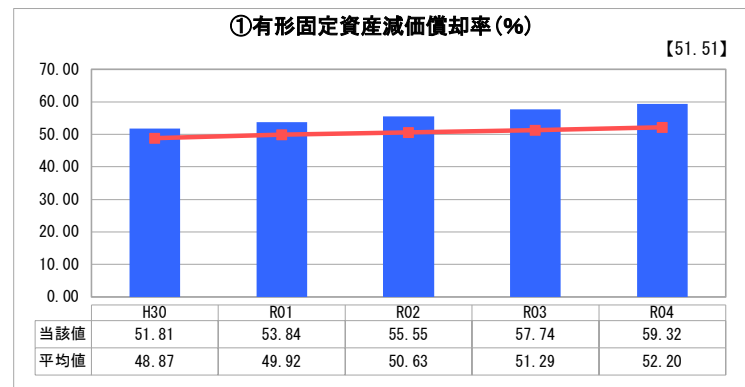
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,729	43.80	450.43
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
17,824	10.28	1,733.85

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
類似団体平均を下回り、減少してきているが、数値は100%を超えており、現時点では健全な水準にある。
- ② 累積欠損金比率
欠損金がないため、健全な状態にある。
- ③ 流動比率
類似団体平均を下回っているが100%を超えており、健全な水準にある。流動資産・流動負債ともに、大きな変動は予想されないため、今後、大きく増減することなく推移するものと推察される。
- ④ 企業債残高対給水収益比率
高い水準ではあるが、年々減少傾向にあり、今後も減少していくものと推察される。
- ⑤ 料金回収率
100%を下回り、かつ、類似団体平均値以下である。今後も100%前後で推移していくと推察されるが、費用の削減等により積極的に取り組む必要がある。
- ⑥ 給水原価
類似団体と比較すると依然として高い水準にあり、増加傾向にあるため、今後は経費の削減等の改善が必要となる。
- ⑦ 施設利用率
類似団体と比較して高い水準で、適切且つ効率良く水道施設を利用できており、良い状態を維持できている。
- ⑧ 有収率
類似団体と比較して高い水準である。今後も漏水調査等を計画的に実施し、効率の良い運営をしていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
類似団体平均値より高い水準であり、今後も増加していくと推察される。定期的な施設の更新が必要となる。
- ② 管路経年化率
当該値0%のため、適正に管路更新が実施できている。
- ③ 管路更新率
前年度からの繰越工事もあり、類似団体平均値より高い水準ではあるが、今後も計画的な管路更新が必要となる。

全体総括

漏水調査や修繕を実施しているため、有収率は高水準である。しかし、計画的に管路の更新を実施しており、企業債残高対給水収益比率は高い状態にある。動力費等の高騰もあり、給水原価も高いため、今後も健全かつ効率的な経営を継続しながら、水道料金の見直し等も含め、管路や施設等の整備を実施していく。